

ウは弓、ウンは入る、又在に當り、ツウは山崎にて、弓形崎の義也、地名又弓形に窪き所とも言ひ、
太田領、地名何の轉せしや、今は太田と書是を古老に審に知る者なし、此場所久敷土人絶て有
しが故、近年請負人なく、春漁は申に及ばず、蛸海鼠も八ヶ村の夏漁の稽古場と成て、無運上の地
なり、

太櫓領略○中 太櫓略○註 地形西北向なれども、船泊宜し、上は平山、樹木なし、この地本名キリキリ
也、フトロは東の川の名なるを、場所の總名とす、其義ビトロにて、ビツヲロの略語、ビツは小石、鯿
網の鎮石にする石の事也、ヲロは有る、地名又ビトロにて美敷所ともいへり、註土人七軒、政改十

六十八軒、安政改十三人、

瀬田内略○中 瀬田内運上○中略 名義大澤の義、此後ろの川を指て號く、本名セタヲミマヒイナイな

り、此所本名エンルンにて、岬の義也、土人多し、總て漁獵の暇、畑作を好む、文政改十九軒、政改十八軒、軒七十六人、
シツキ領、本名シユフキ、譯して蘆荻也、元一ヶ場所にて有しが、土人も追々死絶て、纔に一人ク
残り居る計也、故に島古卷持と成て有、

〔西蝦夷日誌 二編〕島古卷領略○中 島古卷運上屋略○註 昔はホロムイに在しを、此處に移す、上に大

岩有實に奇觀也、濱形西面海面に立岩と云有、其餘種々の奇岩有、産物春彼岸より鯿、夏分海鼠、
雜昆布、秋は鰯、鯿、鱒、鱒、雜魚は四時共に有、土人文政五十五軒、政改三十一軒、軒百廿八人、男六十八人、女六
近比大に減ず、此九人の女も皆老婆と子供にて、當時孕む者なし、

壽津領略○中 スツ、運上屋略○註 當所地名はシユマテレケウシにて、スツ、は川の名也、土人政
改十五軒、軒七十六人、安昔は五百餘人も、此川筋に在しと、其者今濱に出て住する故、川の名を以て、
總名とす、土地良向にして、西にルシャ岳井トツ岳を帶、ヲタスツと對して灣をなす、土産鯿を

第一とし、鮭、鱒、鱒、鱒、海鼠、鮑、鮑、昆布とて細き昆布、又海草も多し、材木、薪、椎茸有、